



File: 30



今月の協力隊員 渡辺菊男 隊員  
 問 営業推進課 ☎ 22-2111 (内線 373)



(2018年に撮影)



## ポストコロナを見越して PART 2

未だコロナが収束しない状況下ですが、人の流動化と観光経済に寄与する企画を考えています。

まず、週末に市内の主な観光地を周遊する無料バスの運行を予定。これは遠方からの観光客のみならず、市民の皆さんも気軽に利用でき、市内観光地の魅力を再発見していただくものです。また、二次交通の確保を通して、いわゆる交通弱者の方々にも観光や体験を楽しんでいただけます。これにはボランティアガイドも同乗し、丁寧に中野市の魅力をご案内する予定です。

また、この他にも市の特産物に焦点を当てた新しい観光イベントや、より市民の皆さんに寄り添った公共施設の利活用も検討中。ポストコロナが明るい未来となるよう、心待ちにしております。

- 1 2 運行日やルートなど詳細については今後ご案内します。
- 3 日本土人形資料館の絵付け体験は海外の方にも好評です。

### 湯本市長の不定期連載コラム



題字：湯本隆英

## 第1回 おうばいとうり 桜梅桃李 (それぞれが個性を磨いていくこと)

日本と中野市の出生数（国内で生まれた日本人）をザックリ比較すると、2018年約92万人／307人。2019年約86万人／265人。2020年約84万／261人(実数)と予想されます。コロナ禍の影響を考慮すると婚姻数も減少傾向ですので2021年は約78万／242人(前年比▲7.1%)と減少が速まり2030年の推計が10年前倒しになることが予想されます。同時に高齢化が進み、社会全体へのインパクトは多大であり、まさに「千の蔵より子は宝」であります。

一方、高度成長期に建設したインフラが老朽化を迎え省インフラ（できるだけサービス水準を維持して最大限費用を削減する方法）を目指すべき時代であります。それには、公民連携が重要でしょう。市民の皆様が英知が、必要です。

中野市長 湯本隆英

### 今回の見通し

## 少子高齢化の時代、 公民連携で省インフラを



▼子育て支援センター「りんごっこ」。子どもは日本の宝です。



バラ市長の  
Favorite ♥  
ROSE



【ザ・マッカートニーローズ（作出：フランス）】  
元ビートルズ、ポールマッカートニーの名を冠した大輪のバラ。濃い紫を帯びたピンクで、芳香性があり、花付きもよく、お気に入りです。